

令和7年度事務事業評価表

事務事業名	居場所づくり事業			担当課	小地域福祉活動推進課	事業種別	自主
				担当係	小地域福祉活動推進係		
開始年度	令和3年度	計画体系	2 住民同士のたすけあいの輪を広げます ⇒ (1)地域支えあい活動の充実				
根拠法令等							
事業区分	事業	社会福祉	拠点	地域福祉事業	サービス	地域福祉事業	
事務事業目的	様々な生活上の課題を抱えている方などに対し、身近な地域に気軽に立ち寄ることができる「居場所」と居場所での「役割」を提供し、地域住民相互の交流の促進を図ることによって、昔ながらの人と人のつながりを取り戻し、誰もがいきいきと暮らすことができる地域づくりをめざす。						
実施内容	<p>【概要】 誰もが住み慣れた地域の中で、健康でいきいきとした暮らしができるように、自由に集まり、交流することができる「居場所(ふれあいサロンあきみつ)」を設置・運営する。 地域住民や地域の団体、社会福祉法人、ボランティア、NPOなど、様々な活動主体に協力いただきながら、人とつながり楽しめる、またやりがいや満足感が生まれる場所を目指していく。</p> <p>【事業内容】 (1) ふれあいサロンの運営 (2) 福祉相談会(社会福祉法人ネットワーク) (3) 学び・交流活動 ・健康サロン「囲碁・将棋・麻雀」(東金町地区小地域福祉活動) ・子どもの居場所(ハーフタイム) ・元気回復活動(金町WRAP) ・子どもの学習支援(夏休み子ども自習室) ・婚活交流会(株式会社サニー) ・ひだまりひろば(大龍会) ・こころととのう談話サロン(かつしかライフリズム) ・おやこのいばしょ(ムスピノキ) ・みんなで体操(個人) (3) 施設の管理運営 ・区内を拠点に活動するNPO法人に委託</p> <p>【開所日等】 毎週火～土曜日(週5日)午前9時～午後4時(祝日・年末年始を除く)</p> <p>※ サロンの運営は、地域住民等(地区町連、地区民児協、地元町会、社会福祉法人ネットワーク、地区センター)で構成する運営委員会で協議・検討している。</p>						

指標		指標の根拠	単位	区分	R4	R5	R6
活動	利用者数	—	人	目標	—	—	—
				実績	676	1,395	2,231
活動	活動者(団体)数	—	人	目標	—	—	—
				実績	6	8	10
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
備考	<p>・令和5年8月より集計方法を変更 変更前:一般開放時間帯(火～土曜・09:00～16:00)のほか、施設管理受託団体のハーフタイムのイベント以外のイベントのみ計上。 変更後:以降:上記に加えて、一般開放時間帯以外のハーフタイムのイベントも含む。</p>						

コスト内訳(千円)		R4	R5	R6
収入	特定財源	4,362,492	2,704,381	3,241,532
	地域支えあい基金			
	一般財源 (a)	0	0	0
支出	事業費 (b)	2,793,292	2,704,381	3,241,532
	職員人件費 (c)	1,569,200	1,576,800	1,617,200
	業務量(人)	0.20	0.20	0.20
	間接費 (d)	0	0	0
	調整額 (e)	0	0	0
	退職給与引当	0	0	0
		0	0	0
	(控)コスト対象外	0	0	0
トータルコスト (f=b+c+d+e)	4,362,492	4,281,181	4,858,732	

単位当たりコスト(円)	R4	R5	R6
単位の定義	利用者数		
実績数値 (g)	676	1,395	2,231
単位あたり社協単コスト (a/g)	0	0	0
単位あたりコスト (f/g)	6,453	3,069	2,178

実施状況に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が気軽に来所・参加できるよう、多様な学び・交流活動を展開している。 ・新たな活動団体も増え、定期的な活動(イベント)が継続実施されたことで、地域住民からの認知も高まっている。また、住民同士の交流や活動団体と地域住民とのつながりも生まれていることから、サロンの継続利用者が増えている。 ・地域課題を解消できるような活動団体も増えているが、サロンの来所者が抱える課題をサロン活動団体や地域住民で共有するような機会はつくれていない。
今後の方向性【改善】	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンへの来所・参加者には、様々なメニューを通して健康の増進や仲間づくりのきっかけとしてもらうほか、活動者としての出番を提供し、地域の中で役割をもって暮らせるような事業展開を図っていく。 ・サロン活動団体や個人同士の情報交換の場を新たにつくり、サロン来所者が抱える課題や困りごとを早期発見・共有しながら課題解消に向けた体制づくりを強化していく。 ・地域住民が継続して来所できるよう、利用者アンケートの結果も踏まえ、周知の工夫や、居心地の良い居場所となるような環境づくりにも取り組んでいく。 ・事業の機能は維持・拡充を図りながら、使い勝手のよい施設への移転を検討していく。また、他の地区で同様の事業が展開できるよう、関係機関・団体との調整を図っていく。